

岡保地区の誇り

水と緑のまち岡保



豊かな水と緑に恵まれた地区であり、次郎丸町には太古から湧き出ている「岡の清水(おかのしょうず)」がある。文明13年(1841年)の頃、宮地町の吉備神社を朝倉二代氏景が建立した際、その手水に使ったといわれる。泉の辺には藤の老大木があり、花の盛りには美観を呈し、一名「藤の泉」とも記録にある。現在は「岡の泉」と呼ばれ、地区の農業や生活用水として住民の生活に密着しており、各地からまるやかな水を求めてくる人が絶えない。平成5年度福井市都市景観賞受賞。



福井県農業試験場が立地する岡保で栽培・収穫したコシヒカリと、戦国大名朝倉氏ゆかりの湧水「岡の泉」が原料となった純米吟醸酒である。地区の魅力を地区内外に広めることをねらいに作られ、各メディアにも取り上げられ注目されている。



「東山アクアスロン大会」は地域資源を活用した住民手作りの大会として、全国から300名を超えるアスリートの参加と200名を超える住民ボランティアで開催。集落内での温かい声援、田園風景の中を走り抜けるコースが好評を得ている。



岡保公民館 運営審議会委員長 天谷 弘之さん

平成27年から現職。青少年育成岡保区民会議会長、岡保まちづくり委員会事務局次長兼任。青少年育成やまちづくりにも関わる中心的存在。「みんなの知恵で、女性や若者が活躍する岡保地区になればと思っています」と話す。

岡保公民館

住 所／福井市河水町10-13
電 話／0776-54-2519
交通機関／京福バス「河水」バス停
から徒歩1分